

鳥取県地震

2021年（令和3年）6月

鳥取地方気象台

目次

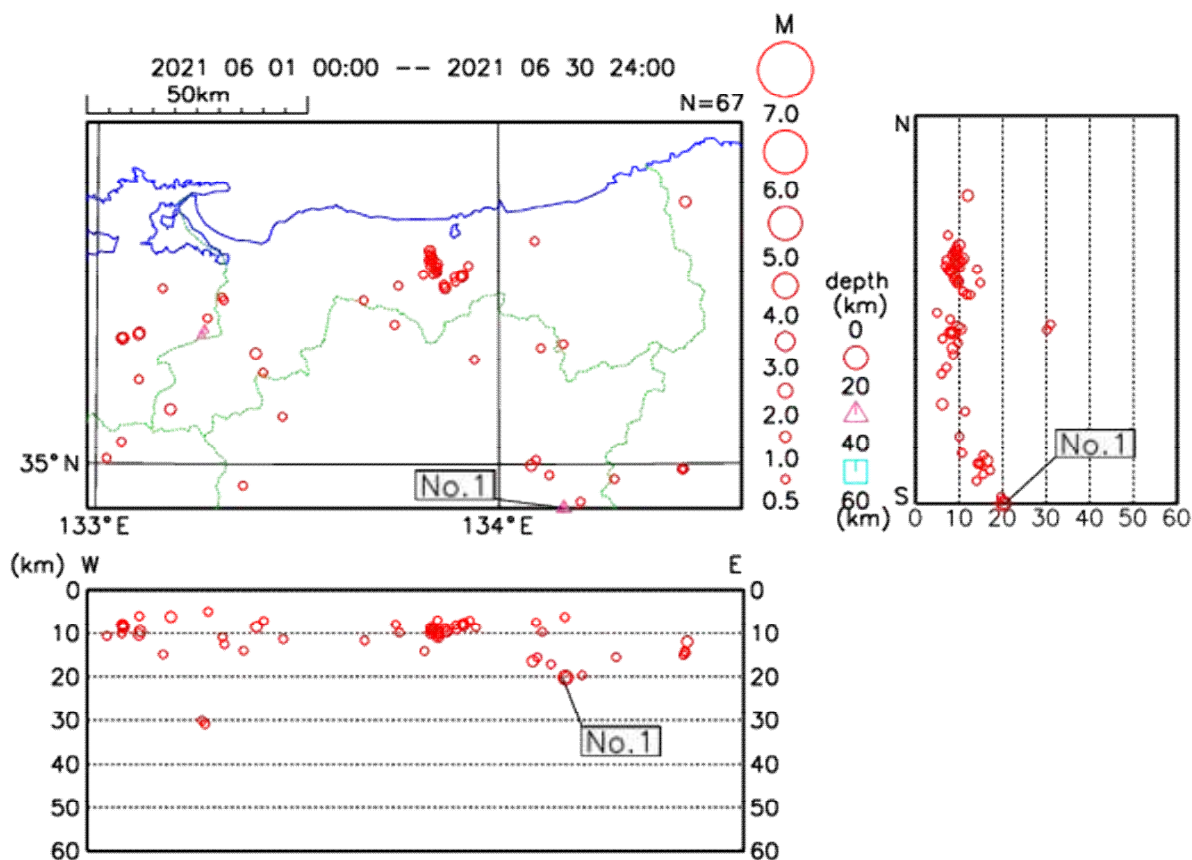
(1) 鳥取県とその周辺の地震活動	
震央分布図及び断面図、概況	1
震源リスト（M2.0以上）	1
(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震	
震度のリスト	2
震度分布図	2
(3) 地震・津波の知識	
ため池の地震対策	3

- ・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。
- ・本資料の地震の震源要素、震度データ及び発震機構解等は再調査された後、修正されることがある。

* 広域の地震については、大阪管区気象台作成の「大阪管内地震活動図」をご覧ください。
大阪管内地震活動図URL <https://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html>

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動

[震央分布図・断面図]



[概 況]

2021年6月に鳥取県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は1回（先月も1回）でした。

19日07時39分 愛媛県南予の地震（深さ42km、M4.7、上図の範囲外）により、愛媛県宇和島市で震度4を観測したほか、近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度3～1を観測しました。鳥取県では米子市と境港市で震度1を観測しました。

上記震央分布図内において、M2.0以上の地震は1回（前月は2回）でした（番号は震源リストに対応）。

[震源リスト(震央分布図内のM2.0以上の震源リスト)]

期間 : 2021年6月1日00時00分～2021年6月30日24時00分

緯度 : 34° 55' ～35° 45' N 経度 : 133° 00' ～134° 40' E

深さ : 0 km～60 km

No.	発震時(年 月 日 時 分)	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	マグニ チュード	最大 震度
1	2021年06月08日08時19分	岡山県北部	34° 54.7' N	134° 9.6' E	20	2.1	—

(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震

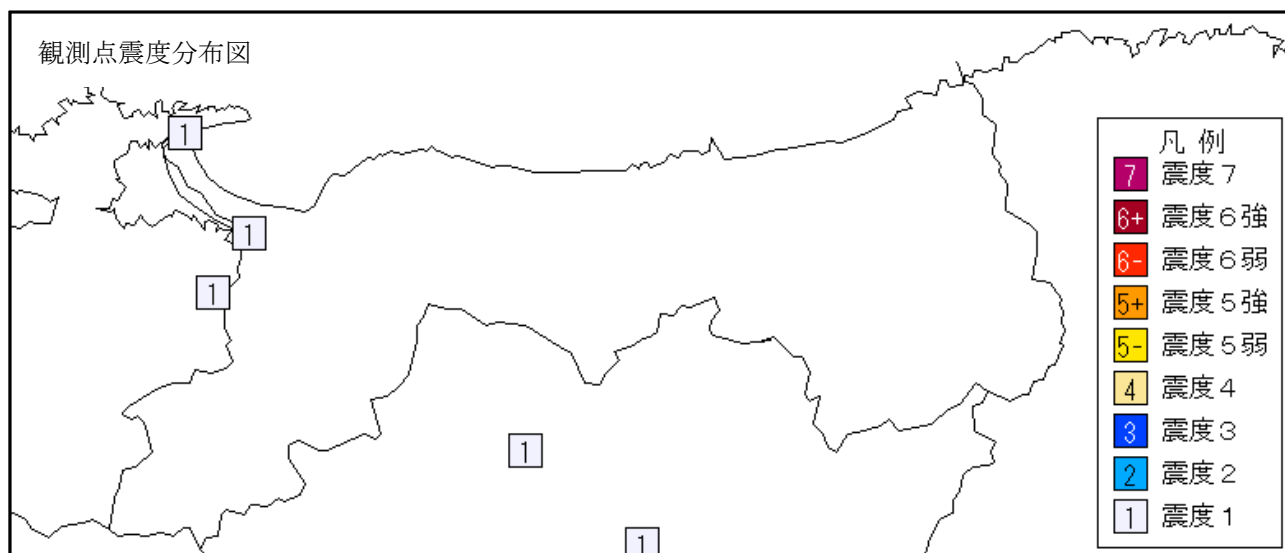
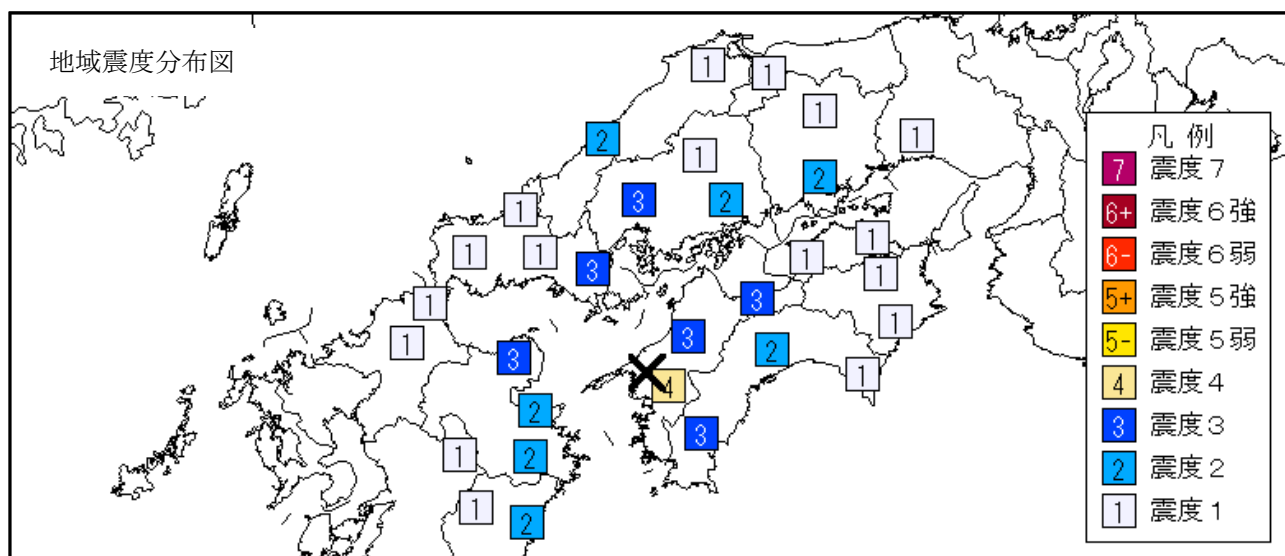
[鳥取県内で震度1以上を観測した地震及び震度のリスト]

発震時 (年 月 日 時 分)	震央地名	北緯	東経	深さ	マグニチュード
2021 年 06 月 19 日 07 時 39 分	愛媛県南予	33° 27.6' N	132° 30.8' E	42km	M4.7
----- 地点震度 -----					
鳥取県 震度 1 : 米子市東町*, 境港市東本町					

*印のついている地点は、国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

[鳥取県内で震度1以上を観測した地震の震度分布図 (図中×は震央)]

2021 年 06 月 19 日 07 時 39 分 愛媛県南予



(3) 地震・津波の知識

ため池の地震対策

農業を営むために、水は欠かせません。時に争いに発展するほど水の確保は重要視されてきました。そのために河川改修や用水路の整備など様々な施策が行われていますが、太古の昔から営々と築き上げられてきたのが「ため池」です。現在でも西日本の瀬戸内海周辺を中心におよそ 16 万ヶ所のため池があり、その 7 割が江戸時代以前に築造されたものだと考えられています。特に稲作では田植え時期の水の確保や水温管理が重要で、現在においてもため池の必要性に変わりはありません。しかし、近年は相続などに絡む権利者の複雑化や、離農者の増加による水利組合の組合員不足等により、管理者が不明であったり適切な維持管理が困難なため池も増加していました。

そのような状況下で、近年激しさを増す豪雨や、1995 年の兵庫県南部地震以降、日本各地で毎年のように発生しているマグニチュード 7 クラスの内陸の浅いところを震源とする地震による被害が無視できないものとなっています。地震に関しては、2004 年の新潟県中越地震では旧山古志村（現長岡市）内に数多く作られていた「棚池」と呼ばれる錦鯉飼育用のため池を始めとして 1000 を超えるため池が被害を受け、また 2011 年の東方地方太平洋沖地震では、甚大な津波被害の影に隠れて大きく報道はされなかったものの、福島県須賀川市にあった農業用ため池の藤沼湖が決壊し、濁流が下流の住宅地に押し寄せて死者 8 名、行方不明者 1 名の大きな被害が生じています。

こういった災害の増加を受け、農林水産省は平成 25 年から 28 年にかけて全国のため池の一斉点検を実施し、その結果に基づいて決壊した場合に下流域への影響が大きいため池を「防災重点ため池」として、優先的に詳細調査を行って管理者を明確化し、施設の改修やハザードマップの作成などの防災・減災対策をとることとしました。

その後、平成 30 年 7 月豪雨の際に、防災重点ため池ではない多くの中小規模のため池で決壊等の被害が生じ、それを受けて全国のため池の緊急点検が実施され、新たな基準のもとに防災重点ため池の再選定が行われました。

平成 31 年には「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が、さらに令和 2 年には「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」が制定され、南海トラフなどの海溝型地震や内陸の浅い地震、頻発する集中豪雨への対策が着々と進められています。



図 1：東北地方太平洋沖地震により決壊した藤沼湖と復旧後の姿

鳥取県ではため池が 985 ケ所登録され、そのうち「防災重点ため池」が 315 ケ所選定されており、さらに行政所有でないものを「特定農業用ため池」に指定して、防災工事が適切に行われるよう対策が進められています。

また、規模の大きいため池を中心に複数のため池についてハザードマップが作成され、自治体のホームページで公開されています。加えてハザードマップ作成に関するワークショップが各地で開催されるなど、新たなハザードマップの整備も進められています。皆さんがお住まいの地域の近くにため池がある場合は、念のため事前にハザードマップを閲覧し、避難経路や避難場所などについて確認しておきましょう。

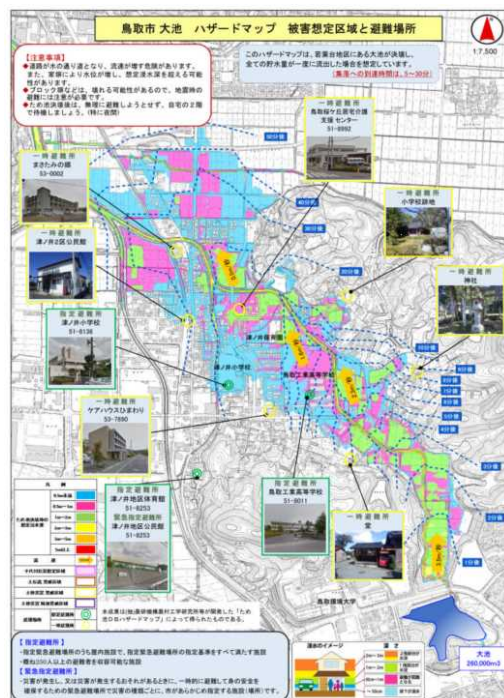


図 2：ため池ハザードマップの例
(鳥取市若葉台北五丁目 大池)

(参考)

- ・農林水産省：ため池

https://www.maff.go.jp/j/nousin/bousai/bousai_saigai/b_tameike/

- ・鳥取県：ため池の防災減災対策

<https://www.pref.tottori.lg.jp/41368.htm>

- ・ため池ハザードマップ

鳥取市：<https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1448324224115/index.html>

岩美町：<http://www.iwami.gr.jp/2985.htm>

倉吉市：<https://www.city.kurayoshi.lg.jp/gyousei/div/kensetsu/seibi/r492/>

北栄町：<http://www.e-hokuei.net/2608.htm>

米子市：<https://www.city.yonago.lg.jp/21552.htm>

大山町：<https://www.daisen.jp/1/10/7/27/>

- ・藤沼湖の決壊原因調査報告書（要旨）

https://www.pref.fukushima.lg.jp/download/1/nosonkeikaku_kensyo_houkoku1-1.pdf

注：図 1 は福島県農林水産部「農林・森林 復旧復興への道」

(<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/307984.pdf>) 9 ページより引用。

そのほかの地震活動の詳細については、気象庁ホームページまたは『令和 3 年 6 月地震・火山月報（防災編）』をご覧ください。

URL <https://www.data.jma.go.jp/tottori/bosai/jishin/jishin.html>

出前講座問い合わせ先：鳥取地方気象台

TEL：0857-29-1313